

習志野市立第二中学校 音楽科 第1学年 シラバス

【学習の目標等】

- ・曲想と音楽の構造など度の関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができる。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにすることができる。

【評価の観点及び内容、方法】

観点	内容	方法
知識・技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり、また音楽の多様性について理解しているか。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表しているか。	・観察評価 ・パート練習・全体練習 ・授業プリント ・技能テスト
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・観察評価 ・授業中の発表 ・パート練習・全体練習 ・授業プリント ・技能テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・観察評価 ・授業中の発表 ・パート練習・全体練習 ・授業プリント ・自己評価カード

【教科担任からのメッセージ】

（１）音楽科の学習について

本教科には、定期テストがないため、１回１回の授業に集中して取り組むことが大切です。普段の授業評価、授業態度が大きく関わります。聴き取ったことや感じ取ったことを記述する授業プリントや振り返りカードが評価のカギとなります。丁寧に抜かりなく取り組むことができると良いです。

（２）授業の持ち物

教科書２冊、コーラスフェスティバル、ファイル、授業プリント、タブレット

（３）授業の進め方・学習のポイント

随時楽譜や教科書、授業プリントにメモを取るようにしましょう。他者との話し合いや交流が自己表現を広げる大切な活動になります。たくさん交流をして、自分の表現力を高めましょう。

（４）家庭学習について

授業内で終わらなかった課題や自分のパートの音取などは、家庭学習で進めてくるようにしましょう。

【学習計画】（週時間数 １時間）

	題材・学習内容	学習のねらい
前期	●新しい仲間とともに思いを込めて歌おう ・校歌 ●イメージと音楽の関わりを感じ取ろう ・ジョーズのテーマ ●混声合唱に挑戦しよう ・合唱コンクール「課題曲・自由曲」 ●音のつながり方の特徴を生かして創作表現を工夫しよう ・My Melody	・仲間と歌う喜びを分かち合う。 ・イメージをもたらし音楽の秘密を探る。 ・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう ・パートの役割を感じ取り、曲想を生かして合唱する。 ・混声合唱の響きを感じながら仲間と表現の工夫をして合唱する。 ・音のつながり方の特徴を生かして自分なりに旋律をつくる。

後期	●音楽の要素と曲想との関わりに気を付けて聴こう ・魔王 ●歌詞や曲想から工夫して歌おう ・赤とんぼ ●日本音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・越天楽 ・六段の調べ ・さくらさくら ●曲想を感じ取って歌おう ・卒業式の合唱曲 ・入学式の合唱曲	・曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取る。 ・詩の内容から日本の歌の持つ情景を感じ取り、思い浮かべながら表情豊かに歌う。 ・日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わう。 ・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱する。
----	--	--